

ついに秋シーズン最終戦を迎える。このチームで挑む最後の試合、何としてでも勝利を取めたい。

1Q

兵県大のキックにより試合開始。阪大は自陣 29yds より攻撃を始めるも、一手目から QB サックを受ける。その後もフレッシュを獲得できず、パントを選択し攻守交代。しかし、阪大 D#はゲインを許さず、兵県大 O#はパントを選択。ボールがスナップされた瞬間、4 回生 DL#3 烏谷が兵県大カバーク



ームの壁を突き抜ける。パンターに飛びかかりブロック。ボールは地面へこぼれ落ちる。すかさず確保しそのまま TD! TFP も 3 回生 K#16 森が確実に決め、7-0。2 回生 K#90 渡辺のキックで試合再開。兵県大 O#はランでフレッシュを試みるも、4 回生 DL#2 木村や DL#3 烏谷のタックルで早々にパントへ追いやり攻守交代。続く阪大攻撃では 2 回生 RB#29 豊田のランでフレッシュを獲得するも、ロスタックルを受ける。そのままパントを選択し、攻撃権を譲ってしまう。兵県大攻撃で阪大 D#にパーソナルファールの反則があり 15yds の罰退。敵陣深くまで攻め入られてしまう。しかし、ここで兵県大 QB の放ったパスを 3 回生 DB#22 七條がインターセプト！攻撃権は阪大へ。ランプレー中心に前進を試みるもフレッシュ獲得ならず。パントで攻撃権が兵県大に移り、5yds のパスが成功したところで第 1Q 終了。



2Q

兵県大 O#は敵陣 28yds 付近からランプレーで攻撃を展開するが、DL#3 烏谷のロスタックルなど、阪大 D#はフレッシュ獲得を許さない。兵県大 O#は FG を選択し、キック成功。7-3。兵県大のキックにより試合再開。阪大 O#はパスの失敗が続くが、兵県大 D#の反則によりオートマチックファーストダウンに。2 回生 QB#11 古川から 4 回生 WR#26 廣田へのパスが成功し、そのままエンドゾーンまで走り切る。しかし、ここで阪大 O#にイリーガルフォーメーションの反則があり、TD ならず。2nd down を繰り返す。そのままフレッシュを獲得することなく攻守交代。続く兵県大 O#の攻撃では DL#2 木村のタックルでロスを奪うも、1st down 更新を許してしまう。しかし、

阪大 D#は堅い守備で兵県大 O#をパントへ追いやる。このシリーズ、阪大 O#は 4 回生 RB#21 和田の 22yds のランなどで敵陣 35yds 付近まで攻め入るものの、パスがなかなか通らず、攻撃権はあえなく兵県大へ。1 回生 LB#6 竹ノ内のタックルなど D#のプレーが光ったものの、互いにパントを蹴り合う展開になり、兵県大 QB のニーダウンで前半終了。

3Q

阪大のキックにより試合再開。兵県大 O#の攻撃。DL#2 木村が重いタックルでロスを奪えば、2 回生 DB#7 佐々木はパスカットでゲインを許さない。攻守交代。フィールド中央 50yds 付近からの攻撃。RB#21 和田と RB#29 豊田のランで次々とフレッシュを獲得。ゴールラインは目前である。OL



がこじ開けた兵県大 D#の穴を RB#21 和田が駆け抜け TD！キックも決まり 14-3。阪大のキックにより試合再開。兵県大の攻撃。4 回生 LB#5 河内が相手の動きに素早く反応し、圧巻の QB サック！阪大 D#の壁は厚く、たちまち攻撃権は阪大へ移る。再び RB#21 和田と RB#29 豊田のランでゲインを重ねる。RB#21 和田は貫録の 43yds ラン！ゴールライン前 3yds に迫ったところで第 3Q が終了。

4Q



ここは何としてでも TD にこぎつきたい。RB#29 豊田のランが阻まれてしまう。QB#11 古川は自らボールを持って走り出す。大外を回りこみ、そのまま TD！キックも決まり 21-3。阪大のキックにより試合再開。兵県大 O#はランプレーで立て続けに 1st down を更新していく。4 回生 DB#32 出来の鋭いタックルも虚しく、敵陣 25yds 付近まで攻め入られる。しかし、阪大 D#は粘りを見せ、どうにか攻撃権を奪い返す。自陣深くから攻撃を開始したが、RB#29 豊田が 50yds 越えの快走を見せ、TD まで残り 20yds。2 回生 RB#23 佐藤がじわじわとゴールラインに迫り、最後は RB#29 豊田が残り 1yds を執念で TD！K#16 森も本日 4 回目となるキックを着実に仕留め、28-3。阪大のキックにより試合再開。兵県大リターンチームが 60yds 越えのリターンで敵陣 13yds 付近まで攻め入る。そのままパスが通り TD。TFP は 2 ポイントコンバージョンを選択し、成功。28-11。試合終了まで 3 分を切った。兵県大のキックで試合が再

開し、阪大の攻撃となるも、フレッシュを獲得できず、すぐさま攻守交代。兵県大がパスプレーでどんどんゲインを重ねる。しかしここで LB#5 河内の QB サックが流れを変え、阪大 D#はパスを阻む。ギャンプルも不成功に終わらせ、攻撃権を得る。ここで 3 回生 QB#1 奥中のニーダウンとともに試合終了。

3 試合のみのトーナメント戦という異例のシーズンであったが、最初で最後の勝ち星を挙げることができた。全員の「楽しみ、進む」という気持ちがこの勝利に繋がったのだろう。この気持ちを受け継ぎ、来年こそは一部昇格を実現する。

Excite

